平成23年度に実施した事務事業の評価

番号	43004	事務事業名	漁業集落排水処理施設維持管理事業	所管課	下水道課

総合計画体系（後期）			
	部	4	快適生活環境の充実
	章	3	上下水道事業の確立
	節（施策）	2	汚水の適正処理

【将来像】

後期基本計画の節（施策）の目標です。

生活排水を適正に処理し、水環境が保全されています

【事業の目的】

対象（誰・何）が、どのような状態になることを目指していますか？

漁業集落排水地区（鐘崎、地島、大島）の汚水を適正に処理し、公共用水域の水質保全を図る。

指標名（成果指標）	説明・算定式	単位	実績の推移			23年度		目標値			
			20年度	21年度	22年度	目標	実績	24年度	25年度	26年度	27年度
処理水質（鐘崎）	処理能力（放流水BOD20mg/L以下）	mg/L	8.6	8.7	4.4	20>	9.6	20>	20>	20>	20>
処理水質（大島）	処理能力（放流水BOD20mg/L以下）	mg/L	3.3	4	11.5	20>	4.9	20>	20>	20>	20>
処理水質（地島）	処理能力（放流水BOD20mg/L以下）	mg/L	36	15	8.3	20>	12.1	20>	20>	20>	20>

【事業の内容】

対象（誰・何）に対して、どんな手段を実施していますか（しますか）？

漁業集落排水地区（鐘崎、地島、大島）の汚水処理施設の維持管理を行う。

事業費（単位：千円）		22年度決算	23年度決算	24年度予算
事業費合計		50,715	51,630	57,145
財源内訳	国・県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	50,715	51,630	57,145
財源名	国・県支出金			
	地方債			
	その他			

平成23年度に実施した事務事業の評価

【平成23年度の実施結果】

23年度 実施計画	漁業集落排水地区（鐘崎、地島、大島地区）の汚水処理施設の維持管理を行う。
実施結果	実績となる数字も入れて、分かりやすく 目標水質ＢＯＤ20mg/L以下を達成し適正な汚水処理機能を維持できたが、計画的な設備保全については、現状で発生する故障に対応するのに手一杯であった。

【担当課の一次評価】

必要性の評価		その評価をした理由
市民のニーズはどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　低下している 9　法令等により市に実施義務がある	評価 2	放流先で筑前海水域を保全することに市民のニーズは変わらず高水準にあると考えられる。
民間、国、県、市の他の事業と目的や成果が重複していませんか？ 1　重複していない　2　一部重複している　3　重複している 9　法令等により市に実施義務がある	評価 1	他に排水処理事業を行うものはなく、重複はない。
有効性の評価		**その評価をした理由**
目的に対しての成果はどうなっていますか？ （成果指標の「23年度」欄の目標を達成できていない場合は「3」を記入） 1　向上している　2　変わらない　3　落ち込んでいる 9　法令等により市に実施義務があり、有効性を判断できない	評価 2	成果指標である処理水質はほぼ横這いであるため。
効率性の評価		**その評価をした理由**
コスト効率・業務効率はどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　低下している	評価 2	事業費がほぼ横這いであるため。

25年度の事務事業に向けての総合評価と改善策

内容・予算		総合評価	具体的な改善策（いつまでに何をしますか？）
内容	維持	老朽化した施設の機能を何とか維持しながら目標水質を達成できた。今後とも市民生活に支障のないよう適切かつ継続した維持管理を行う。	適正な維持管理を継続するために、事後保全から予防保全に切替える。
予算	拡大		

【平成25年度に向けての二次評価（最終評価）】

評価		理由及び検討事項
内容	維持	長寿命化計画策定に向け、調査等の事業を確実に進める必要がある。
予算	拡大	